

令和3年度地方創生推進交付金事業の実績報告について

令和3年度地方創生推進交付金を活用し実施した事業の実績について報告します。

1 交付金の活用目的

国の地方創生推進交付金は、地方版総合戦略に基づく地方公共団体の自主的・主体的で先導的な取組を複数年度にわたり安定的・継続的に支援することにより、地方創生の深化・高度化を促すものです。本市においても交付金を活用し、複数の政策を相互に関連づけるなど、地方創生の充実・強化を図る事業へと展開するとともに、市の財政負担の軽減を図っています。

2 PDCAサイクル

- 国の採択を受けた事業について毎年実績報告をとりまとめ、重要業績評価指標（KPI）の達成状況を国に報告。
- 検証の実施（外部有識者の意見聴取）。
- 検証結果を受けて事業改善を行い、次年度以降の事業を実施。

3 交付金事業の概要

（1）地域連携DMOの設立による麒麟のまち圏域広域観光開拓・推進事業

麒麟のまち圏域の観光地域づくりの核となる地域連携DMOの設立・運営を支援するとともに、圏域への新たな観光需要の開拓を行い、観光入込客数の増加を図ります。また、この取組により促進された交流人口の増加を移住定住者の増加につなげるため、移住定住相談会への出展等により、ふるさと・いなか回帰の促進を図ります。

（2）「山陰海岸ジオパーク」の魅力向上・発信による地域活性化プロジェクト

麒麟のまち圏域を訪れる観光客の増加に向け、山陰海岸ジオパークエリアに点在する優れた観光エリアの情報発信や魅力の向上、体験型観光の充実・強化を図ります。また、子どもたちにジオパーク学習会を通じて、郷土愛の醸成や地域資源を活かした観光事業の可能性や魅力を伝え、将来の観光産業を担う人材育成・確保を図ります。

（3）「麒麟のまち」製品のブランド化・販路拡大による産業振興プロジェクト

「麒麟のまち関西情報発信拠点」を拠点に、関西圏へ圏域の魅力発信及び圏域製品のPR・販路拡大を行います。また、事業実施主体を「地域商社とっとり」が担うことで、販路拡大や市場ニーズを踏まえた新商品開発と既存商品のブランド化を一体的に行うとともに、これらを通じた交流人口の拡大による地域経済の活性化を図ります。

（4）スマート農業技術を活用した新たな販路開拓や商品開発事業

スマート農業などの実証事業による生産性向上や地元産品等を活用した新製品開発やブランド化の支援による高付加価値化を図るとともに、インターネットショップの運営などによる販路拡大やPRのための支援や担い手不足解消に向けた事業の実施により、農林水産業をはじめとする地域経済における諸課題の解決を図ります。

(5) 中心拠点と公共交通ネットワークの再構築による多極ネットワーク型コンパクトシティ推進事業

鳥取駅周辺の構造的課題の把握、回遊性・滞在性の向上による魅力の創出、遊休不動産の活用を通じてまちの魅力を高める「リノベーションによるまちづくり」の推進を行うとともに、市内外からの来訪者増加に向け、持続可能で利便性の高い公共交通の再構築に向けた事業を展開することで、多極ネットワーク型コンパクトシティの推進を図ります。

(6) 「再エネ地産地消の推進」×「次世代農業の推進」×「鳥取型ワーケーションの推進」によるSDGs未来都市型ローカルイノベーション

鳥取市による『サステナビリティ×イノベーションで「農村から真の持続可能なまち」を実現する』提案が優れた内容と認められ、令和3年度SDGs未来都市に選定されました。SDGs未来都市として目指すゴールへ向けて、市民、企業、団体等の多様なステークホルダーと連携・協働しながら、「生産性の高い次世代農業の育成支援」、「新たな電源供給モデルの実用化支援」、「新たなワーケーションプログラムの創出支援」など、具体的な施策を進めます。

4 事業実績の概要

事業名 (実施期間)		総事業費 (うち交付金充当額)	指標	目標値 (R3)	実績値 (R3)	内部 評価	外部 評価
1	地域連携DMOの設立 による麒麟のまち圏域 広域観光開拓・推進事業 (H29～R3年度)	55,387千円 (27,373千円)	圏域への観光客入込客数 (年)	7,890 千人	4,800 千人	地方創 生に相 当程度 効果が あった	KPI達 成に有 効であ った
			圏域への移住定住者数(年 度)	636人	780人		
2	「山陰海岸ジオパーク」 の魅力向上・発信による 地域活性化プロジェクト (R元～R3年度)	31,067千円 (14,759千円)	鳥取砂丘・いなば温泉郷周 辺の観光入込客数(年)	325.0 万人	187.0 万人	地方創 生に効 果があ った	KPI達 成に有 効とは 言えな い
			出前講座・現地研修参加者 数(年度)	11,000 人	9,567人		
3	「麒麟のまち」製品のプ ランド化・販路拡大によ る産業振興プロジェクト (R元～3年度)	42,876千円 (21,438千円)	地域商社の取引契約件数 (累計/年度)	220件	208件	地方創 生に効 果があ った	KPI達 成に有 効とは 言えな い
			鳥取砂丘・いなば温泉郷周 辺の観光入込客数(年)	325.0 万人	187.0 万人		
4	スマート農業技術を活用した新たな販路開拓 や商品開発事業 (R2～4年度)	65,397千円 (20,499千円)	次世代農業実施経営体数 (企業・法人・個人)(年 度)	2件	6件	地方創 生に相 当程度 効果が あった	KPI達 成に有 効であ った
			高校生地元就職率(年度)	89.40%	89.61%		
			大学生地元就職率(年度)	24.88%	17.70%		
			インターネットモール「と っとり市」の売上額(年度)	30,620 千円	111,405 千円		
5	中心拠点と公共交通ネ ットワークの再構築に よる多極ネットワーク 型コンパクトシティ推 進事業 (R2～4年度)	711千円 (356千円)	中心市街地における歩行 者・自転車通行量(年度)	14,925 人	10,120 人	地方創 生に効 果があ った	KPI達 成に有 効であ った
			遊休不動産の利活用件数 (年度)	2件	0件		
			圏域の路線バス利用者数 (年度)	2,456 千人	2,262 千人		
6	「再エネ地産地消の 推進」×「次世代農業 の推進」×「鳥取型ワ ーカーシヨンの推進」 によるSDGs未来都 市型ローカルイノベ ーション (R3～5年度)	10,926千円 (5,463千円)	鳥取市SDGs未来都市 の構想に基づいた事業へ の参画企業数(社/年 度)	15社	15社	地方創 生に非 常に効 果的であ った	KPI達 成に有 効であ った
			再生可能エネルギーを活 用した農産物出荷額(千 円/年度)	500 千円	4,680 千円		
			ワーケーションをきっか けとした移住相談者数 (人/年度)	0人	0人		
合計		206,364千円 (89,888千円)				事業初年度のため 目標・実績とも0人	

※事業実績の詳細は次ページ以降に掲載しています。

地方創生推進交付金事業の評価について

・国が定める以下の区分に基づき、評価を行っています。

● 内部評価について

評価区分		例
①	地方創生に非常に効果的であった	全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合
②	地方創生に相当程度効果があった	一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合
③	地方創生に効果があった	KPIの達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組みが前進・改善したとみなせる場合
④	地方創生に対して効果がなかった	KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合

● 総合企画委員評価（外部評価）について

評価区分	評価の内容
①	KPI達成に有効であった
②	KPI達成に有効とは言えない

令和3年度地方創生推進交付金事業評価シート

事業1	地域連携DMOの設立による麒麟のまち圏域広域観光開拓・推進事業
------------	---------------------------------

①基本事項

事業タイプ	先駆タイプ	事業分野	しごと創生	実施期間	H29年度～R3年度
-------	-------	------	-------	------	------------

②事業概要

麒麟のまち圏域1市6町の交流人口拡大に向けた観光地域づくりの核となる地域連携DMOの運営を支援する。加えて、広域周遊観光の推進、地域資源の魅力向上により、圏域への新たな観光需要の開拓を行い、圏域の観光入込客数増加を図る。また、移住促進事業をあわせて実施することで、観光振興による交流人口の増加を圏域への移住につなげる。

③令和3年度実施事業

事業番号	事業名	概要	主な実績	担当部（局）課等
				実施事業を含む予算中事業名
1	広域観光連携事業	(1) DMO運営支援、観光商品販売プロモーション費 地域連携DMO（麒麟のまち観光局）の運営を支援し、鳥取県東部・兵庫県北但西部1市6町への誘客や周遊促進に取り組み、観光消費の拡大を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ●圏域の観光消費額の拡大に向け、「観光販売戦略」に基づく観光コンテンツの販売キャンペーンの実施 ●情報発信力の強化に向けた1市6町の観光データベース整備やモデルコースの立案等の実施 	経済観光部 観光・ジオパーク推進課 広域観光開拓・推進事業費
		(2) 「砂像のまち鳥取」推進事業 鳥取市の新たな観光ブランドとなった「砂像」を広くアピールし、砂像文化を市民とともに育み、「砂像のまち鳥取市」を全国、全世界に発信する。	<ul style="list-style-type: none"> ●鳥取砂のルネッサンス実行委員会による砂文化の醸成及び担い手の発掘、育成などの取組を支援 <ul style="list-style-type: none"> ・砂のまつりin賀露 シンボル砂像の制作展示 ・すなばようちえんの開催 幼保育園9園254名参加 ・幼保先生向け研修会の実施など 	経済観光部 観光・ジオパーク推進課 「砂像のまち鳥取」推進事業費
		(3) 因幡地域周遊バス運行支援助成費 県東部地域の二次交通対策として個人観光客を対象にツアーバスを運行し、誘客促進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ●鳥取、因幡地域を周遊するバスツアーの運行支援 <ul style="list-style-type: none"> ・5コース計9回運行。乗車人数計128人。 	経済観光部 観光・ジオパーク推進課 因幡地域周遊バス運行支援助成費
		(4) 観光大学支援事業 観光マスターの育成を目的とする観光大学の運営を支援し、観光客へのホスピタリティの向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ●第17期受講者のうち、観光マスター認定試験受験者22人が合格。（累計認定者544人） 	経済観光部 観光・ジオパーク推進課 観光ボランティア活性化事業

事業 1	地域連携DMOの設立による麒麟のまち圏域広域観光開拓・推進事業
------	---------------------------------

1	広域観光連携事業	<p>(5)鳥取県東部エリア周遊スタンプラリー負担金 鳥取県東部エリアの観光振興及び周遊促進を図るため、関係団体が連携して観光誘客及び魅力発信に係る事業を行う。</p>	<p>●県東部1市4町の自治体及び観光協会、鳥取県が連携し季節ごとに「東部エリア周遊スタンプラリー」を実施 ・4期合計応募件数：6,193件 ・各種広報展開として令和3年7月「鳥取・但馬観光ガイドブック」掲載、令和3年12月「スポーツ報知」広告掲載</p>	<p style="text-align: center;">経済観光部 観光・ジオパーク推進課</p> <hr/> <p style="text-align: center;">各種団体負担金</p>
		<p>(6)鳥取すごいライド運営補助事業 鳥取市・岩美町・八頭町が連携した、鳥取砂丘や浦富海岸、雨滝等のジオスポット等を自転車で周遊するイベント「鳥取すごい！ライド2021」に対して支援を行い、豊かな自然や特色ある地域グルメ等を全国に発信する。</p>	<p>●「鳥取すごい！ライド2021」開催 ・実施日：令和3年10月17日 ・新型コロナウイルス感染症対策のため、参加者数を制限して開催したところ、全国各地（北は北海道、南は鹿児島まで）から278名の参加があった。</p>	<p style="text-align: center;">市民生活部 地域振興課</p> <hr/> <p style="text-align: center;">地域の魅力創出事業費</p>
		<p>(7)麒麟のまちエリアプロモーション事業 「食べる！麒麟のまちグランプリ」を開催し、麒麟のまち圏域において、圏域内の事業者による商品開発を促進することにより地域の活性化を図るとともに、スタンプラリーを実施し食を通して圏域の魅力発信を図る。</p>	<p>●食べる！麒麟のまちグランプリ ・参加店舗39店舗 ・一般投票数1,801票 ●もっと食べたい！麒麟のまちスタンプラリー ・参加店舗34店舗 ・応募数139件</p>	<p style="text-align: center;">企画推進部 政策企画課</p> <hr/> <p style="text-align: center;">麒麟のまち創生推進事業費</p>
2	移住促進事業	<p>(1)移住定住相談会への出展 鳥取県東部圏域1市4町及び兵庫県北西部2町で移住相談会に合同出展し、圏域の魅力を発信するとともに、移住相談を実施することで、圏域への移住定住の促進を図る。</p>	<p>●ふるさと回帰フェアへの合同出展 ・おいでや！いなか暮らしフェア2021（大阪府）への出展。※新型コロナウイルス感染症の感染拡大によりオンラインのみでの開催。 ・ふるさと回帰フェア（東京都）への出展を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を鑑み出展見送り。 ●お試し定住体験住宅のリーフレット作成 ・移住定住相談会やその後の相談対応の際に活用するリーフレットを作成。</p>	<p style="text-align: center;">市民生活部 地域振興課</p> <hr/> <p style="text-align: center;">人材誘致・定住促進 対策事業費</p>
		<p>(2)麒麟のまち婚活サポートセンター運営業務 麒麟のまち婚活サポートセンターの運営により、婚活イベントの開催やフォローアップをすることで出会いから成婚までのサポートを行い、若い世代の定住を図る。</p>	<p>●イベント参加者数871人 ●カップル成立数95組 ●会員同士の成婚報告数7組 ●会員以外との成婚報告者数30人</p>	<p style="text-align: center;">企画推進部 政策企画課</p> <hr/> <p style="text-align: center;">若者定住促進事業費</p>

事業 1	地域連携DMOの設立による麒麟のまち圏域広域観光開拓・推進事業
------	---------------------------------

④事業費について			
総事業費		55,387	千円
財源内訳	地方創生推進交付金（国補助金）	27,373	千円
	その他の特定財源	48	千円
	一般財源	27,966	千円

⑤重要業績評価指標（KPI）							
指標 1	指標名	圏域への観光入込客数（千人/年）					
	関連する事業番号	1	担当部（局）・課等		経済観光部 観光・ジオパーク推進課		
		基準値 H27年	H29年	H30年	R1年	R2年	R3年
	目標値	—	6,610	6,920	7,340	7,610	7,890
	実績値	6,305	6,451	6,736	6,809	4,382	4,800
	達成率		97.6%	97.3%	92.8%	57.6%	60.8%
指標 2	指標名	圏域への移住定住数（年間）（人/年度）					
	関連する事業番号	2	担当部（局）・課等		市民生活部 地域振興課		
		基準値 H27年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
	目標値	—	540	565	560	631	636
	実績値	573	741	698	673	699	780
	達成率		137.2%	123.5%	120.2%	110.8%	122.6%

内部評価	<p>内部評価基準</p> <p>①地方創生に非常に効果的であった 全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合</p> <p>②地方創生に相当程度効果があった 一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合</p> <p>③地方創生に効果があった KPIの達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組みが前進・改善したとみなせる場合</p> <p>④地方創生に対して効果がなかった KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合</p> <p>⑤評価対象外 事業を実施しなかった場合</p>
②	

事業 1	地域連携DMOの設立による麒麟のまち圏域広域観光開拓・推進事業
------	---------------------------------

⑥今後の方針について

事業番号 1	<p>地域連携DMO「麒麟のまち観光局」は設立以降、1市6町の連携強化や圏域住民の一体感の醸成などインナーブランディングの強化に注力してきた。また、観光圏域としての対外的なブランディングも同時に進め、令和3年度からは本格的に圏域内の観光消費を高める取組に移行した。特に、情報発信力の強化においては、鳥取市観光サイトのリニューアルを行い、観光消費額の拡大につながる機能を備えた新たなウェブサイトを構築するとともに、広域周遊促進に向け圏域の観光情報の連携にも着手した。引き続き、圏域への誘客に向けた取組を進め、観光消費額の拡大による地域経済の活性化をめざす。</p> <p>また、令和4年度は「鳥取すごい！ライド」の参加制限を更に緩和して開催予定であり、全国からの誘客を高めるなど、圏域自治体との連携をより密にしなが、観光入込客の増加による交流人口の拡大を目指す。</p>
事業番号 2	<p>移住定住相談会については、昨年度同様、コロナ禍による開催中止やオンラインでの開催となった。令和4年度は、相談会の主催者が原則対面での実施を予定しており、移住定住専用ポータルサイト「とっとりコネクト」での発信と併せ、圏域への移住定住の促進を図る。また、麒麟のまち婚活サポートセンターの登録会員数と成婚報告数が伸び悩んでいる状況にあるため、麒麟のまち圏域の各市町で連携を図りながら、イベント内容の見直しやSNS等を活用した情報発信に取り組むとともに、カップル成立後のフォローアップに重点的に取り組む。</p>

⑦総合企画委員評価（外部評価）

外部評価		外部評価基準
①		①KPI達成に有効であった ②KPI達成に有効とは言えない

意見等 No.	事業番号	ご意見・ご質問等の内容	担当課回答	担当課
1	1	<p>地域連携はより一層進めるべきである。地域の魅力の発掘と多彩なメニューの造成を図っていただきたい。</p>	<p>（一社）麒麟のまち観光局では山陰海岸ジオパークを構成する3つのDMOが連携し、首都圏や関西圏をターゲットとする新たな周遊ルートの造成や訪日外国人観光客の嗜好を捉えた観光商品の開発などに向けた取組を進めており、本市もその活動を支援しています。また、麒麟のまち圏域には、麒麟獅子舞を中心とする日本遺産認定ストーリーや山陰海岸ジオパークなど、テーマ性をもった観光コンテンツに恵まれていることから、広域連携により、こうした魅力の情報発信と観光資源の掘り起こしなどに取り組んでいきたいと考えています。</p>	観光・ジオパーク推進課

令和3年度地方創生推進交付金事業評価シート

事業2	「山陰海岸ジオパーク」の魅力向上・発信による地域活性化プロジェクト
-----	-----------------------------------

①基本事項

事業タイプ	横展開タイプ	事業分野	しごと創生	実施期間	R元年度～R3年度
-------	--------	------	-------	------	-----------

②事業概要

山陰海岸ジオパークエリアに点在する優れた観光エリアの情報発信や魅力の向上、ジオパークの本質を体験できる体験型観光の充実・強化により、麒麟のまち圏域を訪れる観光客の増加を図る。また、ジオパーク学習会を通じて、こどもたちの郷土愛の醸成を図るとともに、地域資源を活かした観光事業の可能性や魅力を伝える。

③令和3年度実施事業

事業番号	事業名	概要	主な実績	担当部（局）課等
				実施事業を含む予算中事業名
1	鳥取砂丘ビジターセンターの魅力発信事業	(1)鳥取砂丘ビジターセンター運営負担金 「鳥取砂丘ビジターセンター」を運営し、鳥取砂丘を訪れる観光客等へ砂丘に対する理解と関心を深め、多彩な楽しみ方を紹介することにより、滞在時間や観光客の増加を図る。	●入館者数146,354人 ●館内外ガイド利用者数5,776名 ●ちびっこレンジャー事業など各種ジオパーク関連事業の実施	経済観光部 観光・ジオパーク推進課 鳥取砂丘ビジターセンター事業費
2	山陰海岸ジオパーク学習支援事業	(1)校外学習支援事業 市内の小学校等が行う山陰海岸ジオパークに関する校外学習に必要なバス代を支援することで、郷土愛の醸成を図る。	●校外学習に係るバス代の支援を実施 ・校外学習参加者数1,801名（34校）	経済観光部 観光・ジオパーク推進課 山陰海岸ジオパーク事業費
3	海外プロモーション事業	(1)旅行会社、インフルエンサー等による情報発信事業 海外の現地旅行会社等を通じた広告宣伝など各種プロモーション活動の実施、台湾を中心とした東アジア市場を対象とした現地での旅行セミナーの開催、SNSを活用した情報発信等により、訪日外国人観光客の誘客を図る。	●台湾での鳥取市観光PRセミナー・中継イベントを開催（2回） ●WEBやSNSを活用した鳥取市観光の情報発信 ・台湾向け年間163回 ・欧米豪向け年間20回 ●台湾向け鳥取市観光PR用HPでのWEBイベント開催	経済観光部 観光・ジオパーク推進課 国際観光推進事業

事業2	「山陰海岸ジオパーク」の魅力向上・発信による地域活性化プロジェクト
-----	-----------------------------------

④事業費について			
総事業費		31,067	千円
財源内訳	地方創生推進交付金（国補助金）	14,759	千円
	その他の特定財源	1,549	千円
	一般財源	14,759	千円

⑤重要業績評価指標（KPI）						
指標1	指標名	鳥取砂丘・いなば温泉郷周辺の観光入込客数（万人/年）				
	関連する事業番号	1～3	担当部（局）・課等		経済観光部 観光・ジオパーク推進課	
		基準値 H29年	R1年	R2年	R3年	
	目標値	—	273.0	295.0	325.0	
	実績値	263.0	294.9	170.8	187.0	
	達成率		108.0%	57.9%	57.5%	
指標2	指標名	出前講座・現地研修参加者数（人/年度）				
	関連する事業番号	2	担当部（局）・課等		経済観光部 観光・ジオパーク推進課	
		基準値 H29年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	目標値	—	10,300	10,600	11,000	
	実績値	10,000	10,494	6,854	9,567	
	達成率		101.9%	64.7%	87.0%	

内部評価	<p>内部評価基準</p> <p>①地方創生に非常に効果的であった 全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合</p> <p>②地方創生に相当程度効果があった 一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合</p> <p>③地方創生に効果があった KPIの達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組みが前進・改善したとみなせる場合</p> <p>④地方創生に対して効果がなかった KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合</p> <p>⑤評価対象外 事業を実施しなかった場合</p>
③	

⑥今後の方針について	
事業番号1	新型コロナウイルス感染症の影響により、入館者数は伸び悩んだものの、自然の中で観光を楽しむニーズの高まりなどによって、修学旅行客の来訪が増加した。今後もガイドツアーの充実や企画展等のイベントを開催し観光客のニーズに応えることで、滞在時間や観光客の増加につなげる。
事業番号2	新型コロナウイルス感染症の影響により、昨年度に比べ参加者は減ったが、多くの小学校等が山陰海岸ジオパークに関する校外学習を行った。今後も、山陰海岸ジオパークを活かした郷土愛の醸成を図るため、ビジターセンターなどの拠点施設にある実験装置やレクチャールームなどを活用し、子どもたちの校外学習を支援する。
事業番号3	令和3年度は、WEB・SNSを活用した観光情報の発信により、コロナ収束後のインバウンド需要の回復を見据えた鳥取のファンづくりに取り組んだ。令和4年度においては、感染状況を見極めながら、インフルエンサー招へいによる広報宣伝や、WEB・SNSを活用した情報発信、多言語案内の充実による受入環境の向上などに取り組む。

事業2	「山陰海岸ジオパーク」の魅力向上・発信による地域活性化プロジェクト
-----	-----------------------------------

⑦総合企画委員評価（外部評価）

外部評価	
②	外部評価基準 ①KPI達成に有効であった ②KPI達成に有効とは言えない

意見等 No.	事業番号	ご意見・ご質問等の内容	担当課回答	担当課
1	1	砂丘周辺の魅力度アップが進んでいるが、周辺地域との連携を図り、観光メニューの造成を図っていただきたい。	本市では、鳥取砂丘の西側整備を進めており、砂の美術館など東側も含めた砂丘全体の滞在環境の上質化に取り組んでいます。今後はこの鳥取砂丘を中心に、鳥取城跡や白兎海岸、浦富海岸などとも連携を図り、山陰海岸ジオパーク特有の自然景観の中でのアクティビティやトレイルなどの観光メニューを充実し、観光需要の獲得を図っていきたいと考えています。	観光・ジオパーク推進課

感想等 No.	事業番号	ご感想等の内容	担当課
1	3	プロモーションなどは、フォロワー数やyoutubeの再生回数を目標値に定めて部署内評価を行ってはどうか？鳥取市の公式youtubeのPRビデオなどはとてもよくできているので、まずは1万回再生を狙って頑張ってもらいたい。	観光・ジオパーク推進課
2	1～3	新型コロナウイルス感染が収束しない中での取組みとして、令和2年度に比べて実績値が増えており、努力はそれなりに評価できる。	観光・ジオパーク推進課
3	1～3	実績値の伸び悩みについて「新型コロナウイルス感染症の影響により」との記載がありますが、令和2年度と同様の内容であり、事業の実施にあたっては、もう少し創意工夫があっただけなのではと考えます。	観光・ジオパーク推進課

令和3年度地方創生推進交付金事業評価シート

事業3	「麒麟のまち」製品のブランド化・販路拡大による産業振興プロジェクト
-----	-----------------------------------

①基本事項

事業タイプ	横展開タイプ	事業分野	しごと創生	実施期間	R元年度～R3年度
-------	--------	------	-------	------	-----------

②事業概要

大阪中之島に開設した「麒麟のまち関西情報発信拠点」にて、麒麟のまち圏域の魅力発信や圏域製品のPR・販路拡大を行う。事業実施主体を「地域商社とっとり」が担い、その販売促進力や県内外の企業とのネットワークを活用する。販路拡大や市場ニーズを踏まえた新商品開発、既存商品のブランド化を一体的に実施するとともに、関西圏のファンを獲得し、交流人口の拡大による地域経済の活性化を図る。

③令和3年度実施事業

事業番号	事業名	概要	主な実績	担当部（局）課等
				実施事業を含む予算中事業名
1	関西情報発信拠点 麒麟のまち	(1) 関西情報発信拠点管理運営事業 圏域の情報発信、圏域食材を使用した飲食・製品の展示販売や販売促進イベント等を行う「麒麟のまち関西情報発信拠点」を大阪市北区中之島に設置し、運営することで、関西圏の麒麟のまち圏域ファンを増やし、交流人口の拡大を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ●「麒麟のまち関西情報発信拠点」の管理運営。 ・利用者数 26,239名 ・売上（飲食および物販）合計金額30,153千円 	経済観光部 経済・雇用戦略課 関西情報発信拠点 推進事業費
2	麒麟のまち関西情報発信拠点を 活用した各種プロモーション 事業	(1) 各種プロモーション事業 「麒麟のまち関西情報発信拠点」や麒麟のまち圏域に関する各種プロモーション事業の実施により、拠点の新規利用者の獲得及び既存客の利用頻度増加を推進するとともに、圏域の交流人口拡大を図る。 (2) 特産品販売促進事業 本市の農産物や加工品等の販路開拓・拡大を目的とし、生鮮野菜を中心とした物販のマルシェ形式での実施や、特産品の商談を実施することにより、農業者等のビジネスチャンスの創造を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ●堂島地下街でのタイアップ広告の通年掲載の実施。 ●圏域製品のプロモーションのため、拠点にてキャンペーン・イベント（11種類）を実施。 ●マルシェ形式による対面販売の実施は新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴う緊急事態宣言の発出等により見送り、宅配形式による物販に変更。 ・販売件数：104件 ●麒麟のまち特産品商談会開催（個別訪問・リモート） ・商談件数：27回 	経済観光部 経済・雇用戦略課 関西情報発信拠点 推進事業費 農林水産部 農政企画課 農産物販路拡大支援事業費

④事業費について

総事業費		42,876	千円
財源内訳	地方創生推進交付金（国補助金）	21,438	千円
	その他の特定財源	0	千円
	一般財源	21,438	千円

事業3	「麒麟のまち」製品のブランド化・販路拡大による産業振興プロジェクト
-----	-----------------------------------

⑤重要業績評価指標 (KPI)

指標1	指標名	地域商社の取引契約件数（件数/年度）				
	関連する事業番号	1・2		担当部（局）・課等		経済観光部 経済・雇用戦略課
		基準値 H29年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	目標値	—	50	120	220	
	実績値	30	79	133	208	
	達成率		158.0%	110.8%	94.5%	

指標2	指標名	鳥取砂丘・いなば温泉郷周辺の観光入込客数（万人/年）				
	関連する事業番号	2		担当部（局）・課等		経済観光部 観光・ジオパーク推進課
		基準値 H29年	R1年	R2年	R3年	
	目標値	—	273.0	295.0	325.0	
	実績値	263.0	294.9	170.8	187.0	
	達成率		108.0%	57.9%	57.5%	

内部評価	<p>内部評価基準</p> <p>①地方創生に非常に効果的であった 全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合</p> <p>②地方創生に相当程度効果があった 一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合</p> <p>③地方創生に効果があった KPIの達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組みが前進・改善したとみなせる場合</p> <p>④地方創生に対して効果がなかった KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合</p> <p>⑤評価対象外 事業を実施しなかった場合</p>
③	

⑥今後の方針について

事業番号1	<p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大による入居ビル全体での営業時間短縮、一時閉鎖や外出自粛による人通りの減少があり、大きく影響を受けた。</p> <p>令和4年度も継続して拠点の運営を行うが、物販部門と飲食部門を併せて実施可能で、キャンペーンやイベントなどの広報・宣伝活動をトータルで行える事業者を公募し選定し、新スキームで業務間連携のスムーズ化を図ったうえで、圏域の交流人口拡大を図る。</p>
事業番号2	<p>麒麟のまち関西情報発信拠点に関するプロモーション（広報・宣伝）事業は、運営事業者を刷新することで、運営事業者の他店舗や近隣店舗との連動性を高める。</p> <p>特産品の販売促進事業については、販路拡大や都市部における消費者ニーズの把握を、地域商社などを主体として実施する。また、農家の対面販売と同等の効果を期待できる、農園からのリモート参加などの工夫を加え、アフターコロナも見据えた柔軟な事業展開も検討する。</p>

事業3	「麒麟のまち」製品のブランド化・販路拡大による産業振興プロジェクト
-----	-----------------------------------

⑦総合企画委員評価（外部評価）

外部評価	外部評価基準 ①KPI達成に有効であった ②KPI達成に有効とは言えない
②	

意見等 No.	事業番号	ご意見・ご質問等の内容	担当課回答	担当課
1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者数あたりの客単価1,150円/人 ・週5日稼働としての売上11,500円/日 は目標額と比較してどのように評価されているか？	<p>客単価は、従来から来店客の割合が、昼のランチ営業等が85%程度であり、目標の1,160円近くの実績となりました。</p> <p>売上は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による緊急事態宣言等での休業や時短営業による制限があったことと周辺オフィスのリモートワークによる来店客数が減少したことにより来店客数が大きく減少したことにより、目標の55%程度で、厳しい結果となりました。</p>	経済・雇用戦略課
2	2	各種プロモーション事業及び特産品販売促進事業について、令和3年度の活動実績を踏まえ令和4年度ではどのように変革されたのか？	<p>麒麟のまち関西情報発信拠点を通じての特産品販売は、運営事業者の他店舗（2店）でも販売しており、今後も販売店舗数の拡大を検討しています。併せて、実店舗とECサイトとの連動が図れないか検討しているところです。</p> <p>特産品販売促進事業について、令和3年度は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、宅配形式のマルシェやWebでの商談会を幅広く実施し、関西圏を超えた幅広いマーケットに対し商品をPRできました。令和4年度は、対面型マルシェを再開させ、生産者の顔が見えるプロモーション動画を放映するなど、アフターコロナ時代でも生産者と消費者を繋ぐ顔が見える販売方法を展開し始めたところです。また、今後は農園からのリモート参加も推進することとしております。</p>	経済・雇用戦略課 農政企画課

事業3	「麒麟のまち」製品のブランド化・販路拡大による産業振興プロジェクト
-----	-----------------------------------

感想等 No.	事業 番号	ご感想等の内容	担当課
1	1・2	本事業については、新型コロナの影響の中もあり、今後とも広報・宣伝について広く情報収集をしながら展開していくことを期待します。	広報室
2	1・2	コロナ禍の影響を受け、販促活動に支障をきたしたことは理解できるが、令和2年度の状況を鑑みた活動内容の修正が行われたかは疑問である。令和4年度が既にスタートをしている中で、期初での具体的な活動内容の変更が記述されていない。	経済雇用・戦略課
			農政企画課
3	1・2	コロナ環境下やむを得ない面あり。一定の効果はあったと考える。	経済・雇用戦略課
			農政企画課

令和3年度地方創生推進交付金事業評価シート

事業4	スマート農業技術を活用した新たな販路開拓や商品開発事業
------------	-----------------------------

①基本事項

事業タイプ	横展開タイプ	事業分野	しごと創生	実施期間	R2年度～R4年度
-------	--------	------	-------	------	-----------

②事業概要

人口減少や少子高齢化の進展が農林水産業をはじめとする地域経済に影響を与えている。スマート農業の実証事業による生産性の高い農業の実現、農産物をはじめとする地元産品等を活用した新商品開発やブランド化の支援による高付加価値化、インターネットショップの運営をはじめとする地元産品の販路拡大やPRの支援による販売先の確保、担い手不足解消に向けた支援等の実施により、様々な課題の解決を図り、稼ぐ地域の実現を目指す。

③令和3年度実施事業

事業番号	事業名	概要	主な実績	担当部（局）課等
				実施事業を含む予算中事業名
1	農産物のスマート農産物のブランドの推進と販路の拡大	(1) 農産物等販路開拓事業 本市の農産物や加工品等の販路開拓・拡大を目的とした首都圏向け商品開発事業の実施により、農業者等のビジネスチャンスの創造を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ●新商品開発事業の実施。 ・新商品開発5件 	農林水産部 農政企画課
				農産物販路拡大支援事業費
		(2) 農産物ブランド化事業 鳥取地どり「ピヨ」の生産体制の構築や人材育成等への支援を行い、地どりのブランド化を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ●鳥取地どり「ピヨ」の生産組織に対し、地どり生産の専門家による人材育成を通年で実施。 ●販路拡大に向けたPR費用に対する助成の実施。 	農林水産部 農政企画課
				鳥取地どりブランド生産拡大支援事業費補助金
		(3) 6次産業化推進事業 農産物等を活用した6次化商品の新規開発や販路開拓、生産加工機器導入等の経費を助成して、収量確保及び加工品出荷量の増加による収入確保を図るとともに、安定した農業経営の支援を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ●6次化に取り組む農業者・農業法人へ助成 助成件数：2件 	農林水産部 農政企画課
				もうかる6次化・農商工連携支援事業費
		(4) 次世代農業推進事業 先進的な農業生産技術やICTを活用した新技術の導入による作業の効率化や自然エネルギーの農業への活用研究などに取り組み、新たな農業の担い手の確保につなげるとともに、本市の農業の振興を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ●梨園でのICT技術を活用した事業継承モデルの実証事業の実施。 実証件数：1件 ●温泉を活用した園芸栽培におけるスマート農業モデルの実証事業の実施。 実証件数：1件 	農林水産部 農政企画課
				次世代農業推進事業費

事業4	スマート農業技術を活用した新たな販路開拓や商品開発事業
------------	-----------------------------

事業番号	事業名	概要	主な実績	担当部（局）課等
				実施事業を含む予算中事業名
2	インターネットによる圏域産品のPRととっとり産品の大	(1)インターネットモール運営事業 インターネットモール「とっとり市」を運営（カスタマーセンター設置、宣伝広告等の実施、システム保守）を行うことで、インターネットによる販路拡大・開拓を促進し、本市の物産振興を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ●売上高111,405千円（前年比175%） ●リスティング広告やコロナ禍対策として追加キャンペーン（交付金対象外事業）を実施。 ●全国的に増加しているサイトへの攻撃に対応するため保守を行う。 ●商品発送等の処理簡素化のため、配送データ連携を実施。 	<p>経済観光部 経済・雇用戦略課</p> <hr/> <p>インターネットショップ 事業費</p>
		(2)鳥取市観光コンベンションセンター物産部門運営補助事業 鳥取市ふるさと物産館の運営を行う、鳥取市観光コンベンションセンターの物産部門の運営を支援することで、物産品及び伝統工芸品等の販路拡大を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ●鳥取市ふるさと物産館年間売上高27,741千円（前年比約91%） ●ネット販売売上高6,559千円（前年比約126%） ●物産会員間の連絡会を定期開催し、「とっとり市」との連携企画発案等の、事業の進捗確認体制が構築された。 	<p>経済観光部 経済・雇用戦略課</p> <hr/> <p>物産振興体制強化事業費</p>
3	担い手不足解消のための人材確保支援	(1)人材確保推進事業 市内企業が作成する自社PR動画作成経費への助成、「とっとり企業ガイドブック（東部版）」の作成など、市内企業の認知度向上を図り、人材確保とUターン就職の促進につなげる。	<ul style="list-style-type: none"> ●とっとり企業ガイドブック（東部版）1000冊作成 ●掲載企業191社 ●企業就職PR動画作成助成金による助成2件 	<p>経済観光部 経済・雇用戦略課</p> <hr/> <p>人材確保推進事業費</p>
		(2)雇用促進協議会支援事業 本市の経済発展や雇用創造・促進に寄与することを目的に設置される鳥取市雇用促進協議会が行う、高校生を対象とした企業見学会の実施や職場定着促進セミナーの開催を助成することで若者の地元定着を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ●高校生の企業説明会実施。 ●6校301人、23社（延べ34社）が参加 ●地元企業と高校進路指導担当者との就職情報交換会 ●7校、15社が参加 ●職場定着促進事業セミナーの開催。 ●6社参加 	<p>経済観光部 経済・雇用戦略課</p> <hr/> <p>雇用促進協議会支援 事業費</p>
		(3)事業承継推進事業 事業承継のための融資借入に係る利子に対する助成や、第三者承継先を探すために専門機関等と契約を結んだ際の初期費用の一部を助成することで、本市における事業承継を促進し、産業の維持・継続的發展を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ●事業承継推進補助金による融資借入利子に対する助成6社 ●第三者承継支援補助金による助成4社 	<p>経済観光部 企業立地・支援課</p> <hr/> <p>事業承継推進事業費</p>

事業4	スマート農業技術を活用した新たな販路開拓や商品開発事業
------------	-----------------------------

事業番号	事業名	概要	主な実績	担当部（局）課等
				実施事業を含む予算中事業名
4	販路拡大とブランド化支援	(1)農商工連携マッチング事業 市内事業者間の生産物、加工品、技術、販路等のマッチングや、技術力・販売力向上のための伴走型支援を鳥取商工会議所に委託して実施することで、農商工連携を促進し、地元農産物の販売活性化や6次産業化による高付加価値化を図る。	●マッチング支援24社 ●専門家派遣によるアドバイス支援8社 ●販路開拓支援26社	経済観光部 企業立地・支援課 農商工連携 マッチング事業費
		(2)食品加工産業育成事業 市内食品加工事業者の新商品開発や既存商品改良などの取組や食品加工に係る新規事業の創出を支援することで、本市の豊富な農林水産物を活用した食品加工産業を育成し、地域経済の成長や多角化を図る。	●食品加工産業育成事業補助金による助成3件	経済観光部 企業立地・支援課 食品加工産業育成事業費
		(3)新技術研究開発事業 産学連携による事業可能性調査、基礎的・予備的試験、情報の収集などを支援する。	●補助制度の活用0件	経済観光部 経済雇用・戦略課 新技術研究開発事業費

④事業費について

総事業費		65,397	千円
財源内訳	地方創生推進交付金（国補助金）	20,499	千円
	その他の特定財源	22,968	千円
	一般財源	21,930	千円

⑤重要業績評価指標（KPI）

指標1	指標名	次世代農業実施経営体数（企業・法人・個人）（件/年度）				
	関連する事業番号	1	担当部（局）・課等		農林水産部 農政企画課	
		基準値 H30年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	目標値	—	1	2	4	
	実績値	0	1	6		
	達成率		100.0%	300.0%		
指標2	指標名	高校生地元就職率（%/年度）				
	関連する事業番号	1・3・4	担当部（局）・課等		経済観光部 経済・雇用戦略課	
		基準値 H30年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	目標値	—	88.60	89.40	90.20	
	実績値	87.80	87.09	89.61		
	達成率		98.3%	100.2%		

事業4	スマート農業技術を活用した新たな販路開拓や商品開発事業
-----	-----------------------------

⑤重要業績評価指標 (KPI)

指標3	指標名	大学生地元就職率（%/年度）					
	関連する事業番号	1・3・4		担当部（局）・課等		経済観光部 経済・雇用戦略課	
		基準値 H30年度	R2年度	R3年度	R4年度	R2年度	R3年度
	目標値	—	24.14	24.88	25.62		
	実績値	23.40	17.20	17.70			
	達成率		71.3%	71.1%			

指標4	指標名	インターネットモール「とっとり市」の売上額（円/年度）					
	関連する事業番号	2		担当部（局）・課等		経済観光部 経済・雇用戦略課	
		基準値 R1年度	R2年度	R3年度	R4年度		
	目標値	—	26,626,625	30,620,619	35,213,712		
	実績値	23,153,587	63,616,392	111,405,083			
	達成率		238.9%	363.8%			

内部評価	<p>内部評価基準</p> <p>①地方創生に非常に効果的であった 全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合</p> <p>②地方創生に相当程度効果があった 一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合</p> <p>③地方創生に効果があった KPIの達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組みが前進・改善したとみなせる場合</p> <p>④地方創生に対して効果がなかった KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合</p> <p>⑤評価対象外 事業を実施しなかった場合</p>
②	

事業4	スマート農業技術を活用した新たな販路開拓や商品開発事業
-----	-----------------------------

⑥今後の方針について	
事業番号1	<p>スマート農業技術の普及促進や、企業等新規参入を含む担い手の確保を図るとともに、県、金融機関、商工団体等と連携し、所得向上に有効な6次産業化を推進していく。</p> <p>また、地域商社ととっとり連携した商談会の開催や催事等への積極的な出展により、新たな販路開拓を行い、大消費地である首都圏・関西圏等のニーズを産地にフィードバックし、更なる生産振興を図るとともに、生産から消費までのトレーサビリティや出荷時期、規格等の正確な情報の共有化と、個人間取引も可能とする独自の物流DXを構築することで大消費地への販路拡大と需要と輸送の効率化を図る。</p>
事業番号2	<p>「とっとり市」は令和3年度において、本事業と別事業でのキャンペーン等との相乗効果により、KPIを超える売上高を達成した。4月から12月までの長期間にわたるキャンペーンのため、キャンペーン以外でのベース金額の妥当性の判断は困難であるが、今後は、キャンペーンによる誘客と、誘引された顧客層の固定化を行うため、カスタムしながらキャンペーンを継続していく。</p> <p>また、本事業により、立ち上がった物産会員連絡協議会に「とっとり市」の売上データ等を展開しており、適切な分析を行うことで、協議会及び会員と「とっとり市」によるPDCAサイクルの確立を促進し、事業の相乗効果を狙う。</p>
事業番号3	<p>人材確保事業については、企業ニーズに応じて各補助事業を継続実施する。また、企業ガイドブックについては、GIGAスクール構想に基づき1人1台タブレットとなることから電子版とする。</p> <p>雇用促進協議会支援事業は、コロナ禍によって大規模な企業見学会ができないため、企業が高校を訪問して企業説明会を行うことで地元企業の周知を図る。また、職場定着促進セミナーの開催により、離職防止・職場定着を図る。</p> <p>事業承継については、鳥取県の後継者不在率が74.9%と全国1位の高水準（帝国データバンク調べ2021）にある。支援の継続により市内事業所の維持・発展を促し、若者の地元就職における選択肢の確保につなげる。</p>
事業番号4	<p>農商工連携や食品加工産業の育成については、事業者の課題解決に向け、商工団体等の関係機関との連携による事業の進捗が図られている。引き続き、事業を推進する。</p> <p>また、産学連携については、民間のニーズと大学等のシーズをいかにマッチングさせ、付加価値を創出していかか検討する。</p>

事業4	スマート農業技術を活用した新たな販路開拓や商品開発事業
-----	-----------------------------

⑦総合企画委員評価（外部評価）

外部評価	
①	外部評価基準 ①KPI達成に有効であった ②KPI達成に有効とは言えない

意見等 No.	事業番号	ご意見・ご質問等の内容	担当課回答	担当課
1	3	<p>人材確保推進事業において、KPIを「大学生地元就職率」と置いているが、推進事業施策内容でこのKPIが上昇するとは考えづらい。地元就職を促す施策の実施や活用についてKPIを定めることが必要と考えます。</p>	<p>鳥取県やふるさと鳥取県定住機構の取組と重複しないように調整する中で高校生に対する事業が中心となってきました。KPIの達成に貢献できる施策について大学や関係機関とも連携しながら研究してまいります。</p>	経済雇用・戦略課
2	1～4	<p>事業番号2については特に大きな成果であった。鳥取産品の販売力強化につながる取組であり今後も注力すべき。 事業番号1, 3, 4については短期間に成果を出すのは難しいものの継続的に取り組んでいくべき重要な取組である。経済・産業支援の観点から一層注力すべきと考える。</p>	<p>(事業番号1) 今後も最新のデジタル技術等を活用したスマート農業推進への取組を行うとともに、生産・加工・販売・消費に係る一連のトレーサビリティや、6次化マッチング、販路拡大を実現する高度物流システムを構築し、農業者等の所得向上につながる農業DXに取り組み、農業振興を図ります。</p>	農政企画課
			<p>(事業番号2) インターネットショップ「とっとり市」運営業務委託の受託者であり、かつ鳥取市ふるさと物産館の運営を行う鳥取市観光コンベンション協会と協議をしながら、鳥取産品の販売力強化に資する取組みを検討・継続します。 (事業番号3) 高校生の約半数が県外進学している現状から、将来的に地元就職が選択肢の1つとなるよう高校時代から地元企業の魅力について理解を深めてもらうなど事業に粘り強く取り組んでいきます。 (事業番号4) いかにして産学が連携した取組みを創出していくことが重要であり、その方策について検討します。</p>	経済雇用・戦略課
3	1	<p>事業名にある「スマート農業技術を活用した」という事業ではあるがKPIの指標名目標がマッチしていないように思われる。</p>	<p>スマート技術を活用した農業生産が拡大していくことは、データにより生産履歴が可視化された付加価値の高い安全安心な農産物の生産に繋がります。それらの農産物が新たな販路の拡大や新商品開発を促進すると考えておりますが、KPIにおいては、全農家の販路の把握が困難なため、生産の主体である次世代農業の実施経営体数と設定しています。</p>	農政企画課

令和3年度地方創生推進交付金事業評価シート

事業5	中心拠点と公共交通ネットワークの再構築による多極ネットワーク型コンパクトシティ推進事業
------------	---

①基本事項

事業タイプ	横展開タイプ	事業分野	まちづくり	実施期間	R2年度～R4年度
-------	--------	------	-------	------	-----------

②事業概要

鳥取駅周辺を麒麟のまち圏域の中心市のエントランスにふさわしい利便性の高い、活気、魅力のあるエリアにすることを目的とする。エリア周辺の構造的課題の把握、回遊性・滞在性の向上による魅力の創出、遊休不動産の利活用を通じてまちの魅力を高める「リノベーションによるまちづくり」の推進を行う。また、市内外からの来訪者増加に向け、持続可能で利便性の高い公共交通の再構築に向けた事業を展開する。

③令和3年度実施事業

事業番号	事業名	概要	主な実績	担当部（局）課等
				実施事業を含む予算中事業名
1	鳥取駅前 フリーWi-Fi 整備事業	(1)鳥取駅前フリーWi-Fi整備事業 鳥取駅周辺施設等に公衆無線LAN環境を整備し、市民・来街者等が滞在できる憩いの場を整える。また、一帯の拠点性を高めるためにTottori ekimae Free Wi-Fiと名称づけ、周辺広場の活用とあわせ、市内外の情報発信を行う空間を整備する。	<ul style="list-style-type: none"> ●令和3年3月に整備した、鳥取駅前の風紋広場、ケヤキ広場、バード・ハットの公共空間のWi-Fiの管理・運用を行った。 ●Wi-Fiの利用回数は、12月（1,618回/月）までは右肩上がりで見られていたが、季節的な影響なのか、1月～3月までの期間は、ひと月の利用回数が1,000回/月を下回り、2月（581回/月）を最低として大幅に減少した。 	都市整備部 中心市街地整備課
2	鳥取駅北口広場 ライトアップ プロジェクト	(1)鳥取駅北口広場ライトアッププロジェクト 鳥取駅北口周辺広場のライトアップ装飾を施すことで、人々が滞在しやすい空間を整え、賑わいの創出を図る。	●鳥取駅北口周辺広場（ケヤキ広場）のライトアップを通年実施し、人々が滞在しやすい空間を創出。	都市整備部 中心市街地整備課
3	市道駅前 賑わい創出 太平線 事業	(1)市道駅前太平線賑わい創出事業 鳥取駅北口広場において社会実験を実施し、人が自然に集まる賑わい空間の実現に向けた方策を検討する。	●社会実験の実施は新型コロナウイルス感染症の影響により見送り。	都市整備部 中心市街地整備課
				鳥取駅前周辺 にぎわい創出事業

事業5	中心拠点と公共交通ネットワークの再構築による多極ネットワーク型コンパクトシティ推進事業
-----	---

⑤重要業績評価指標 (KPI)

指標1	指標名	中心市街地における歩行者・自転車通行量（平日・休日）（人/年度）					
	関連する事業番号	1～4		担当部（局）・課等		都市整備部 中心市街地整備課	
		基準値 H30年度	R2年度	R3年度	R4年度		
	目標値	—	14,725	14,925	15,125		
	実績値	14,525	14,398	10,120			
	達成率		97.8%	67.8%			
指標2	指標名	遊休不動産の利活用件数（件/年度）					
	関連する事業番号	4		担当部（局）・課等		都市整備部 中心市街地整備課	
		基準値 H27年～H30 年度（累計）	R2年度	R3年度	R4年度		
	目標値	—	2	2	2		
	実績値	8	3	0			
	達成率		150.0%	0.0%			
指標3	指標名	圏域の路線バス利用者数（千人/年度）					
	関連する事業番号	5		担当部（局）・課等		都市整備部 交通政策課	
		基準値 H30年度	R2年度	R3年度	R4年度	R2年度	R3年度
	目標値	—	2,585	2,456	2,334		
	実績値	2,721	2,335	2,262			
	達成率		90.3%	92.1%			
内部評価		<p>内部評価基準</p> <p>①地方創生に非常に効果的であった 全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合</p> <p>②地方創生に相当程度効果があった 一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合</p> <p>③地方創生に効果があった KPIの達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組みが前進・改善したとみなせる場合</p> <p>④地方創生に対して効果がなかった KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合</p> <p>⑤評価対象外 事業を実施しなかった場合</p>					
③							

事業5	中心拠点と公共交通ネットワークの再構築による多極ネットワーク型コンパクトシティ推進事業
-----	---

⑥今後の方針について	
事業番号1	鳥取駅周辺の公共空間でのWi-Fi環境整備により、観光客等来街者が情報収集できる環境が構築され、利便性が向上した。引き続き、Wi-Fi環境を提供し、他の事業との相乗効果により、賑わいの創出と回遊性の向上を図る。
事業番号2	隣接する風紋広場との一体的なデザイン・整備によるライトアップ演出が可能となり、駅前のシンボルとしての空間形成を図ることができた。引き続き市民にとっての憩いの場の創出や、イベント利用や出店など公共空間の利活用促進を図り、中心市街地への誘客へ繋げる。
事業番号3	令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大状況を考慮した結果、社会実験は中止とした。しかしながら、鳥取駅周辺は多くの人が集積する場所であり、鳥取駅周辺に位置する公共空間を活用した日常的な賑わいを生み出す取り組みにつなげるため、今後とも周辺部における社会実験等の実施に取り組み、その効果や課題を整理し、駅周辺の再生に繋げていく。
事業番号4	「鳥取市リノベーションまちづくり構想」に基づき、リノベーションまちづくり会議の開催、投融資制度の活用等による事業化の伴走支援や民間、地域によるエリアマネジメント推進に向けた取り組みを進める。また、まちなかの遊休不動産を題材に都市部のワーケーション人材と地元人材のチームを構成し、課題解決に向けた物件の活用提案を行うプログラムを実施するなど、新たな視点を持ちながら、遊休不動産所有者と民間事業者のマッチングの強化を図っていく。
事業番号5	令和3年度に策定した自動運転移動サービスロードマップに基づき、交通事業者や自動運転技術の提供企業などと協働し、自動運転バスの走行環境の調査研究や実証運行などの取組を推進していく。

事業5	中心拠点と公共交通ネットワークの再構築による多極ネットワーク型コンパクトシティ推進事業
-----	---

⑦総合企画委員評価（外部評価）

外部評価	外部評価基準
①	①KPI達成に有効であった ②KPI達成に有効とは言えない

意見等 No.	事業番号	ご意見・ご質問等の内容	担当課回答	担当課
1	3	数値的には未達成ですが駅前の人出が増えたような印象がありました。悪天候や気温に左右されず滞在できる場所が増えるとよいと思います。地下道の拡張はどうでしょうか。	本市は、雨天時でもイベント等の開催を可能とするため、鳥取駅前ヘバード・ハットを建設し、その活用を推進していますので、必要な場合にはそちらを活用いただきますようお願いいたします。 なお、地下道の拡張についてはご意見として承ります。	中心市街地整備課
2	4	助成制度の活用が0件ということで、利用したい人のニーズに合った助成内容なのか、聞き取りなどして見直してほしい。	この助成制度は、遊休不動産を活用してイベントの開催を実施したいとの要望を受けて創設したものでしたが、短期間のイベント開催に対して貸出し可能な物件が少ないことから助成制度の活用が進んでいないものと考えております。引き続き、活用希望者等の意見を伺いながら制度の改善を図っていきたいと思います。 また、令和4年度は、イベントの開催支援に拘ることなく、遊休不動産の利活用を促進する取り組みを進めるため、まちづくり会社と連携し、都市部の人材と地元の人材が3か月の期間をかけて相互に意見を交換し、物件の活用につなげていく「まちづくりワーケーションプログラム」という制度を新たに創設しました。	中心市街地整備課
3	5	自動運転等に関する次世代交通システムの導入検討で交付金対象外だが、鳥取砂丘周辺の公道で実施された実証実験について、結果と成果を教えて欲しい。	今回の実証実験は、降雪時や強風時など悪天候時での自動走行の検証を目的に実施した結果、降雪、積雪時では正常な走行ができませんでしたが、強風時の飛砂中でも人工衛星から車両位置情報を受信し正常に走行することができました。まだまだ課題が山積していますが、今後も本格導入を目指し取り組んでいきます。	交通政策課
4	1～3	駅前周辺の魅力アップと集客の工夫を。	コロナ後を見据えた新しい生活様式へ対応するため、公共空間へのWiFi設置や風紋広場へのシンボル設置、ライトアップなどを行うことで、来街者への魅力アップを図りました。令和4年10月には、鳥取駅南側の鉄道記念公園付近を活用した実証実験を行うことで、公共空間を活用した日常的な賑わいを生み出す取組を行うこととしており、引き続き駅前周辺の魅力アップに努めていきたいと考えております。	中心市街地整備課

事業5	中心拠点と公共交通ネットワークの再構築による多極ネットワーク型コンパクトシティ推進事業
-----	---

感想等 No.	事業 番号	ご感想等の内容	担当課
1	3	駅前サンロードに新店が増えている印象。屋根もあり駅直結なので、シンボルになるにぎやかなストリートになると活気が生まれると思う。	中心市街地整備課
2	5	自動運転は車が無いと生活できない郊外に早く導入してほしい。	交通政策課
3	1～3	鳥取駅周辺の賑わいづくりに色々な取組がされて、近頃は風紋広場に賑わいが戻りつつあるように思う。地道な取組の積み重ねによって効果をあげていくことを期待する。	中心市街地整備課
4	5	自動運転は老後にぜひ活用したい（今現在の高齢者の役に立つ）です。期待しています。	交通政策課

令和3年度地方創生推進交付金事業評価シート

事業6	「再エネ地産地消の推進」×「次世代農業の推進」×「鳥取型ワーケーションの推進」によるSDGs未来都市型ローカルイノベーション
------------	--

①基本事項

事業タイプ	横展開タイプ	事業分野	しごと創生	実施期間	R3年度～R5年度
-------	--------	------	-------	------	-----------

②事業概要

鳥取市による『サステナビリティ×イノベーションで「農村から真の持続可能なまち」を実現する』提案が優れた内容と認められ、令和3年度SDGs未来都市に選定された。SDGs未来都市として目指すゴールへ向けて、市民、企業、団体等の多様なステークホルダーと連携・協働しながら、「生産性の高い次世代農業の育成支援」、「新たな電源供給モデルの実用化支援」、「新たなワーケーションプログラムの創出支援」など、具体的な施策を進める。

③令和3年度実施事業

事業番号	事業名	概要	主な実績	担当部（局）課等
				実施事業を含む予算中事業名
1	持続可能な 取組 農業経営 に向けた	<p>(1) オンラインマッチングの実施、地元リサイクル材活用支援 県外企業による本市への農業参入を促進するため、オンラインマッチングイベントに参加し、都市圏企業の誘致を進める。</p>	<p>●都市圏企業とのオンラインマッチングイベントへ参加し、延べ24社と誘致交渉を行った（うち、複数社と現在も交渉を継続中）。</p> <p>●地元リサイクル材を活用した農業の実施に係る経費の一部を支援する補助金制度を令和3年10月に構築した（令和3年度の実績は0）。</p>	経済観光部 企業立地・支援課 SDGs未来都市推進事業
2	都市部から 地方へ の 人 材 確 保 の 取 組 み	<p>(1) ワーケーションプログラムの企画 県外の方に、鳥取市のSDGsの取り組みを知っていただき、本市に関心をもっていただく機会を作るため、持続可能なまちづくりを題材としたワーケーションプログラムを企画する。 また、市内で快適にワーケーションができる環境を提供するための取組を実施する。</p>	<p>●鳥取市鹿野地域における持続可能なまちづくりを舞台としたラーニングワーケーションプログラムの企画及び制作を行った（実施は令和4年度）。</p> <p>●テレワークや地域交流に活用するための交流・研修施設の整備の一部を支援する補助金制度を令和3年10月に構築した（令和3年度の実績は0）。</p>	経済観光部 企業立地・支援課 SDGs未来都市推進事業

事業6 「再エネ地産地消の推進」×「次世代農業の推進」×「鳥取型ワーケーションの推進」によるSDGs未来都市型ローカルイノベーション

事業番号	事業名	概要	主な実績	担当部（局）課等
				実施事業を含む予算中事業名
3	持続可能な社会の実現の取り組み	(1)環境意識向上事業支援 鳥取市内におけるSDGsの認知度が広がり、市内の企業または個人がそれぞれSDGsを自分事として捉えて参画できるようにするための、意識向上に繋がる仕組みを構築する。	●鳥取を舞台にしたアイデアであり、SDGsの意識向上に繋がる商品を企画・試作する事業者を支援する補助金制度を令和3年10月に構築した（令和3年度の実績は0）。	経済観光部 企業立地・支援課 SDGs未来都市推進事業
4	持続可能なカーボンフリー社会実現の取組みを高める統合的な取組	(1)SDGs未来都市プロジェクト推進協議会の運営 経済・社会・環境各側面が有機的に繋がるよう、庁内・庁外における関係者を集めた連絡協議会を立ち上げ、運営する。	●企業立地・支援課内にSDGs未来都市推進事務員を配置し、本市の取組の情報発信を行った。 ●庁内関係課で組織する「SDGs未来都市実践プロジェクトチーム」を立ち上げ、情報共有できる体制を構築した。	経済観光部 企業立地・支援課 SDGs未来都市推進事業
		(2)各種ツールを用いた情報発信、啓発セミナー等の開催 SDGs未来都市の取組の参画者を増やしていくため、「SDGs」とは何か、「鳥取市SDGs未来都市」とはどんな構想かを周知するセミナーを開催したり、オンラインによる情報発信を実施する。	●市内小中学生を対象とした、本市のSDGsの取組を学ぶワークショップを実施し、38人が参加した。 ●市内企業を対象とした、「SDGs経営実践のためのセミナー」を実施し、44団体49名が参加した。 ●本市の取組を周知するための特設サイト及び動画を制作した（サイト公開は翌年度）。 ●市内外の児童、生徒、学生（小学～大学）に、本市の取り組みについての説明を行った（延べ4件）。	経済観光部 企業立地・支援課 SDGs未来都市推進事業

④事業費について			
総事業費		10,926	千円
財源内訳	地方創生推進交付金（国補助金）	5,463	千円
	その他の特定財源	0	千円
	一般財源	5,463	千円

事業6	「再エネ地産地消の推進」×「次世代農業の推進」×「鳥取型ワーケーションの推進」によるSDGs未来都市型ローカルイノベーション
-----	--

⑤重要業績評価指標 (KPI)

指標1	指標名	鳥取市SDGs未来都市の構想に基づいた事業への参画企業数(社/年度)				
	関連する事業番号	1・3・4	担当部(局)・課等		経済観光部 企業立地・支援課	
		基準値 R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	目標値	—	15	37	62	
	実績値	0	15			
	達成率		100.0%			
指標2	指標名	再生可能エネルギーを活用した農産物出荷額(千円/年度)				
	関連する事業番号	1	担当部(局)・課等		経済観光部 企業立地・支援課	
		基準値 R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	目標値	—	500	800	1,500	
	実績値	0	4,680			
	達成率		936.0%			
指標3	指標名	ワーケーションをきっかけとした移住相談者数(人/年度)				
	関連する事業番号	2	担当部(局)・課等		経済観光部 企業立地・支援課	
		基準値 R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	目標値	—	0	15	25	
	実績値	0	0			
	達成率		-	事業初年度のため 目標・実績とも0人		
内部評価		<p>内部評価基準</p> <p>① 地方創生に非常に効果的であった 全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合</p> <p>② 地方創生に相当程度効果があった 一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合</p> <p>③ 地方創生に効果があった KPIの達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組みが前進・改善したとみなせる場合</p> <p>④ 地方創生に対して効果がなかった KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合</p> <p>⑤ 評価対象外 事業を実施しなかった場合</p>				
①						

事業6	「再エネ地産地消の推進」×「次世代農業の推進」×「鳥取型ワーケーションの推進」によるSDGs未来都市型ローカルイノベーション
-----	--

◎今後の方針について	
事業番号1	持続可能な農業経営に向けた取組として、環境に優しいスマート農業の実践モデルを市内に増やすために、企業による農業参入を希望される企業とのマッチング活動を進めていく。また、地元リサイクル材を活用した、環境に優しく生産性の高い農業経営を進めていく。
事業番号2	都市部から地方への人材確保への取組を進めていくため、官民連携による「とっとりワーケーションネットワーク協議会」を立ち上げ、ワーケーションの推進体制を構築し、市内を舞台にしたワーケーションを実施する（令和3年度に構築した、鳥取市鹿野地域における持続可能なまちづくりを舞台としたラーニングワーケーションツアーの実施を含む）。
事業番号3	持続可能なカーボンフリー社会実現の取組として、民間企業が主体となって行っている微生物発電の実用化が少しでも進むよう、本市もこの発電事業に参画し、経費における支援を行う。また、本取組が市内外の民間企業への高い関心を生み出し、クラウドファンディングなど行政以外からの支援もいただけるように、広く情報発信を行っていく。
事業番号4	事業番号1～4の取組効果を高める統合的な取組として、広く情報発信を行っていく。具体的には、特設サイトによる情報発信、啓発用パンフレットの作成、取組内容を分かりやすくまとめた動画の作成と公開、市内外の方を対象としたセミナーやワークショップの実施などを行っていく。 また、庁内・庁外の関係者との連絡を密に行っていく事で、本取組の横展開を進めていく。

事業6	「再エネ地産地消の推進」×「次世代農業の推進」×「鳥取型ワーケーションの推進」によるSDGs未来都市型ローカルイノベーション
-----	--

⑦総合企画委員評価（外部評価）

外部評価		外部評価基準 ①KPI達成に有効であった ②KPI達成に有効とは言えない
①		

意見等 No.	事業番号	ご意見・ご質問等の内容	担当課回答	担当課
1	1	KPI指標2の達成率1000%に近いのは、そもそも分母が小さいのか、分子に加算する数値を計画段階では想定していなかったものを入れたのか確認したい。	農家の出荷の規模は千差万別であり、計画段階では大規模農家の参入を想定できていなかったことが主な要因となります。	企業立地・支援課
2	3	SDGs関連の取組として発信力のある事業と考えるものの、補助金の有効性の観点から経過、課題を把握しながら事業化に向けての必要な支援を行うべきと考える。鳥取市として当該事業の進捗、課題、収支、可能性、企業の業況等をどの程度把握しておられるのか伺いたい。	微生物発電の実用化に向けては、民間企業主体で行われており、本市はその取り組みを支援している状況です。現在は実用化にあたっての課題整理と解決策の検証を進めている段階であり、今後も継続した情報共有を図り、適切な支援が行えるよう努めてまいります。	企業立地・支援課
3	1～4	それぞれの目標値が低く、事業達成後の関連が判断できない。情宣活動及び計画策定段階のため、KPIと事業達成度の関連がない。KPIの設定について再考して頂きたい。	指標2については当初の想定を大幅に上回る結果となりましたが、指標1と3については適正な結果であったため、今後も継続して進捗管理を進めていきたいと考えています。	企業立地・支援課
感想等 No.	事業番号	ご感想等の内容		担当課
1	3	事業番号3については実証実験の経過、実効性等を適宜確認し、課題を把握しながら必要な支援を進めていくことが肝要。		企業立地・支援課